



第74回

がんばろう！栃木 【川瀬巴水 ー栃木からの旅路ー】

月明かりが差し込む暗い杉並木の中、とぼとぼと家路を辿る農婦と駄馬。木々の間に星が一つきらめき、夜の静寂に響く

足音だけが聞こえてきそうな美しい風景です。

日光の名所の一つとなっている杉並木は、徳川家康、秀忠、家光の三代に仕えた松平正綱が主君家康が亡くなった後、日光東照宮へ続く三筋の参道に植栽したもので、家康の三十三回忌に東照宮へ寄進されました。植樹には20年もの歳月がかかったといわれています。現在約12500本が残っていますが、当時はもっと多かったようです。世界最長の並木道としてギネスブックに登録されており、現在三街道合わせて35.41キロメートルあります。

「日光杉並木」を制作した川瀬巴水（1883-1957）は、新版画を代表する版画家です。風景画を得意とし、栃木を描いた絵をたくさん残していますが、中でも多いのが日光の風景です。

日光は昭和2年に一般公募で選ばれた「日本新八景」にも入るほど、当時から日本屈指の観光地でした。日本人のみならず、外国人にも人気があり、欧米各国の外交官やビジネスマンたちが避暑やリゾートに訪れました。

巴水は複数の版元から依頼を受けて日光のいろいろな場所を描きました。当時、新版画は国内よりも外国人の間で高い評価を受けており、新版画を制作、販売する版元は、外国人に好まれる日光を画題に選んだのです。

「川瀬巴水 ー栃木からの旅路ー」後期では、二ツ堂、陽明門、神橋など美しい建造物を描いた版画や、中禅寺湖、華厳の瀧、戦場ヶ原、湯滝など奥日



「日光杉並木」川瀬巴水 昭和5年5月作（個人蔵）

光の自然を描いた風景画を取りそろえて展示しています。また、袋田の滝や吾妻峡、白河城址など、北関東や東北の風景も併せてご紹介します。那珂川町の皆さんも訪れたことがある場所がたくさん見つかることでしょう。

なつかしく美しい日本の景色をどうぞご堪能ください。

馬頭広重美術館 学芸員 長井裕子

【会 期】後期 ～11月27日(日)

【開館時間】午前9時30分～午後5時まで
(但し、入館は4時30分まで)

【入館料】大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

～秋の夜長に～ 「お月見会」

10月8日、南町小公園で南町商店会主催のお月見会が開かれました。

マジックショーやビンゴ大会、昔懐かしい写真をバックにジャズの生ライブなどで秋の夜長を楽しみました。



ミニギャラリー

